

中野市介護保険事業運営協議会 会議録

1 日 時

平成 30 年 7 月 25 日（水） 午後 1 時 30 分から

2 場 所

市役所 会議室 53

3 出席者

【委員】（敬称略）

丸谷和洋（会長）、高橋一美（副会長）、小林 強、北澤陽子、松島治恵、渋谷昌記、浅野茂子、丸山扶美、海谷ひろ江、田村安則、齋藤文子、宮澤章仁、加藤慎吾（計 13 名）

【事務局】

斉藤健康福祉部長、吉村高齢者支援課長、鈴木高齢者支援課長補佐兼介護予防包括支援係長、涌田介護保険係長、小林長寿福祉係長、傳田主任主事（計 6 名）

4 欠席者

【委員】（敬称略）

南 修、杉浦宏子、江口 明、関 純子（計 4 名）

5 内 容

(1) 開会（高橋副会長） （午後 1 時 30 分）

(2) あいさつ（丸谷会長）

(3) 中野市老人福祉計画・介護保険事業計画における平成 29 年度実績について

【事務局説明】

（委員）

資料の 6 ページの実績に関して、計画値を見ると、どれも実績が（計画値を）下回っていて、計画を超えることはない。これと同じようなことで、20 ページの養護老人ホームへの措置、これも 34 名という目標だが、下回っているからほぼ予定どおりで超えていることはないから、概ね皆さん、老人保健施設や老人福祉施設に入れているのかなという印象があるが、（北信）広域連合の話だが、データが間違っていたら申し訳ないが、

年 140 名の申込みがあって、年 120 名が入れ替わっている。そうするとあくまでも申込人数の方が多くて、実際には入れない人がいるという感じになっている。実際のところはどうか。希望すれば入れるという現状はあるか。

例えば、母親と息子の 2 人暮らしで、母親がどうしても施設へ入らなければ息子は仕事を辞めなければいけない、誰も見てくれないという緊急な場合もある。

その辺どうなっているか、わかる範囲で教えてもらえればありがたい。

(事務局)

特別養護老人ホームの待機者の件でよろしいか。

(委員)

はい。

(事務局)

入所については、北信広域連合の検討委員会で措置するかどうかという決定をしている。待機者とすれば、北信広域管内でまだ待機者はいると聞いている。

(委員)

(個々の状況や緊急性は) 加味されているのか。先ほどのように仕事を辞めてまで看なくてはいけない場合もあり、切ない。

(事務局)

その辺も検討委員会で判断していただいていると思う。

(4) その他

【事務局・委員共になし】

(5) 閉会 (副会長) (午後 2 時 9 分)